

# 梧桐会総会開催

## 5月9日(日) 於・大崎高校

# 梧桐会報

第50号

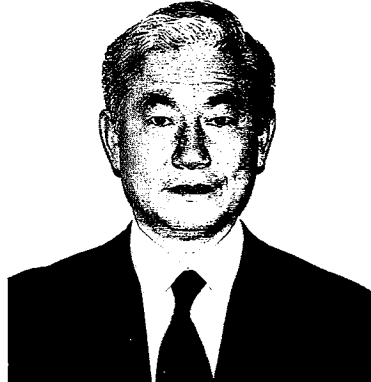
平成16年4月1日発行  
 発行所 梧桐会  
 事務局・東京都大田区新蒲田 3-18-1-507 渡部良彦  
 TEL/FAX 03(3730)8117  
 編集 渡部良彦  
 発行 川村日正  
 印刷 日正印刷

桜前線も北の方に移り、東京でも木々の緑が一段と眼に染みる季節となって参りましたが、梧桐会の皆様には如何お過ごしですか。日頃より同窓会の活動に対し御理解と御支援を頂いておりますことに厚く感謝



梧桐会 会長  
川村 治

さて、私達の同窓会梧桐会は、昭和十二年に正式発足してより六十七年の歳月を経て、今日では会員数一八、〇〇〇名を超える大きな組織と成って参りました。そして多くの会員の方々が



都立大崎高等学校長  
齊藤 光一

梧桐会の皆さん、始めまして。この四月から前任の星野校長先生の後任として赴任させていただきます。九十余年の伝統ある大崎高校をより一層発展させるべく、梧桐会、PTAの皆様のお力もお借りし、教職員とともに一丸となって努力していき所存でございます。同窓会活動が低調になり、卒業生も隔年の発行となる学校の多い中、梧桐会の活動は、それとは違い、部活動の

OB会や、同期会等も休日の本校を会場にして、盛んに行われていると伺っております。在学中の三年間の交流だけでなく、世代を超えた縦の繋がりと、今年度は本校の強みなのではないかと。本校の教育目標の中心に、「自主自律の精神に充ちた」とありますが、この精神が学校生活において、また卒業されてからも存分に発揮された結果が今の同窓会の繁栄となっております。

ご挨拶  
お66回梧

本校の近況でございますが、遅れておりましたが、昨年十二月に住民説明会が行われ、数年後にはテニスコートも完成し、使い勝手の良い運動施設になります。毎年、海外から留学生を受け入れていますが、昨年はタイ、今年度はマレーシアの生徒が二年間に在籍しています。授業でも国際理解教育が重視され、PTA主催の短期留学が春休みに行われ、女子九名が参加しました。充実した施設の中で校内のIT化も促進され、今年度はIT教育普及推進校として特色ある教育を行ってまいります。皆様の母校大崎高校が、今後も発展していくことをここに報告いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

実社会の色々な分野にて大いに活躍されている事と存じます。梧桐会は会員相互の親睦交流と、併せて母校発展に寄与する事を目的として設立され、今日まで活動して参りましたが、会の組織が大きくなるに従って、本来の目的を十分に達成する事が難しく成りつつあり、毎年開催される総会の出席人数も年を追う毎に減少の傾向に在ります。特に卒業して数年の会員さんの出席数が昔に比べ激減しております。原因の一つには若い方達の、卒業した学校に対する愛着心とか価値観の変化

この数年の向上、確実に変わってきている点がある。それは少子化の影響であると思われるが、大学側の危機感の顕れである。最近流行している「嫌な表現であるが「勝ち組」「負け組」ではないが、二極化が顕著になってきたことがあげられる。その結果として、多くの私大がセンター入試を採り入れたり、一〜三教科入試の導入や、A・O入試の普及などの入試制度が多様化されたことである。

ご挨拶  
お66回梧

この数年の向上、確実に変わってきている点がある。それは少子化の影響であると思われるが、大学側の危機感の顕れである。最近流行している「嫌な表現であるが「勝ち組」「負け組」ではないが、二極化が顕著になってきたことがあげられる。その結果として、多くの私大がセンター入試を採り入れたり、一〜三教科入試の導入や、A・O入試の普及などの入試制度が多様化されたことである。

ご挨拶  
お66回梧

この数年の向上、確実に変わってきている点がある。それは少子化の影響であると思われるが、大学側の危機感の顕れである。最近流行している「嫌な表現であるが「勝ち組」「負け組」ではないが、二極化が顕著になってきたことがあげられる。その結果として、多くの私大がセンター入試を採り入れたり、一〜三教科入試の導入や、A・O入試の普及などの入試制度が多様化されたことである。

ご挨拶  
お66回梧

この数年の向上、確実に変わってきている点がある。それは少子化の影響であると思われるが、大学側の危機感の顕れである。最近流行している「嫌な表現であるが「勝ち組」「負け組」ではないが、二極化が顕著になってきたことがあげられる。その結果として、多くの私大がセンター入試を採り入れたり、一〜三教科入試の導入や、A・O入試の普及などの入試制度が多様化されたことである。

ご挨拶  
お66回梧

この数年の向上、確実に変わってきている点がある。それは少子化の影響であると思われるが、大学側の危機感の顕れである。最近流行している「嫌な表現であるが「勝ち組」「負け組」ではないが、二極化が顕著になってきたことがあげられる。その結果として、多くの私大がセンター入試を採り入れたり、一〜三教科入試の導入や、A・O入試の普及などの入試制度が多様化されたことである。

ご挨拶  
お66回梧

この数年の向上、確実に変わってきている点がある。それは少子化の影響であると思われるが、大学側の危機感の顕れである。最近流行している「嫌な表現であるが「勝ち組」「負け組」ではないが、二極化が顕著になってきたことがあげられる。その結果として、多くの私大がセンター入試を採り入れたり、一〜三教科入試の導入や、A・O入試の普及などの入試制度が多様化されたことである。

## 近年の進路状況

前進路指導部 山口 博士

この数年の向上、確実に変わってきている点がある。それは少子化の影響であると思われるが、大学側の危機感の顕れである。最近流行している「嫌な表現であるが「勝ち組」「負け組」ではないが、二極化が顕著になってきたことがあげられる。その結果として、多くの私大がセンター入試を採り入れたり、一〜三教科入試の導入や、A・O入試の普及などの入試制度が多様化されたことである。

## 進学状況 (4月6日現在)

進学		進学	
四年制大学合格者数	電気通信 1	大東文化 1	高千穂 1
進路指導部として資料の充実を計り、一人一人の生徒たちが利用しやすく、適切なアドバイスが行える進路指導部を目指して参りましたが、この2年間果してどうであったか。	面細 2 桜美林 1	拓殖 2 玉川 1	千葉経済 1 中央学院 2
ただ、国立公立大に浪人を含む、数名入学でき、難関といわれる大学にも入ることのできるようになってきたのは、大変喜ばしいことである。	大妻女子 2 神奈川 3	帝京 3 東海 3	東京経済 1 東京工芸 1
専門学校への進学は、とくに慎重に決定して欲しいが考えられると思います。また、会員相互の親睦に付いても、同期会やメール等で日々深められている為、同窓会の意義が薄れつつあるように思われます。	川村学園女子 1	東京国際 2 東京情報 1	東京電機 4 東京農大 1
会報により総会への出席を呼びかけておりますが、効果は十分のようではありません。幸いにして、この数年若い幹事の方が増えて参りましたので、その方々の意見もよく取り入れて更なる活性化を計って行きたいと思っております。	関東学院 7 敬愛 1	東洋 3 二松学舎 1	東洋 3 二松学舎 1
同窓会に対するご意見、ご要望、お考えなどをFAXに、メールで事務局までお寄せ頂ければ幸いです。	恵泉 1 工学院 1	立命館 1 立正 1	立命館 1 立正 1
	国士館 8 駒澤 5	和光 5 麗沢 1	和光 5 麗沢 1

新幹事(15年度卒)  
 A 藤島 裕人 宮原 裕樹  
 B 沖 加奈子 宮崎 有紗  
 C 家電 寛克 大橋あずさ  
 D 小島 祐太 小室 直樹  
 E 猪瀬 朋宏 櫻田 圭祐  
 F 磯辺 賢一 鈴木南帆子  
 G 大阿久 哲  
 加藤えんじょい



転出  
 菊地広志 (国語) つばき総合高校  
 宮嶋俊江 (世界史) 赤坂高校  
 劉 信行 (数学) 高島高校  
 逸見由起子 (世界史) 西高校  
 宮司成昭 (生物) 駒場高校

転入  
 石川貴子 (事務) 知事本部  
 齊藤光一 (校長) 向島商業高校  
 常国佳久 (国語) 新宿高校  
 水島伊彦 (世界史) 新規採用  
 小池美津子 (倫理) 新規採用  
 山田 浩 (数学) 東高校  
 澤野啓一 (生物) 忍岡高校  
 岡本又吉 (地学) 戸山高校  
 関根身知子 (理科) 南葛飾高校  
 水野昌行 (保健体育) 葛西南高校(定)  
 小山しのぶ (英語) 第一商業高校  
 上野都子 (英語) 深沢高校  
 和田祐二 (情報) 新規採用  
 高井八千代 (養護・嘱託)

退職  
 星野佳正 (校長) 都立大附属高校(嘱託)  
 池田太郎 (美術・嘱託)

梧桐会事務局  
 〒144-0054 大田区新蒲田3-18-1-507 渡部良彦  
 TEL/FAX 03-3730-8117 (常時留守電)  
 E-mail: aogirikai@mbm.nifty.com  
 一口500円です。同封の払込取扱票に住所・氏名等を打ち出しておりますので、ぜひご利用下さい。同窓会の当日も受付しております。  
 郵便振替 00170-0-614506(加入者名 大崎高校梧桐会)

全買たよ

思い出



川名(大木)美代 (昭和4年度卒)

私は大正2年5月生まれです。今年で九十一歳になります。当時の旧友達は元気でしょうか？...

戦争中の学生生活

山田(松本)登美子 (昭和20年度卒)

梧桐会報、毎年楽しみに読ませて頂いております。昨年は石塚先生の計報に友人と先生を忍んで、思い出話を致しました。

同窓会は遠いものになりました

寺島(石塚)静江 (昭和14年度卒)

私が大崎に入学したしたのは1936年4月です。当時の同窓会を振り返ると、何と68年も前になります。

私は本当のところ良く判りませんでした。それから毎年その着物で正月を迎え、その後、嫁いだ私に「あの着物、今度来る時持ってきたさい。」



母の親の和服で作ったモンペを履き、靴もないので手縫いの足袋で下駄を履いておりました。背中には防空頭巾を背負い、朝家を帰るときはいつも無事に帰って来る事を祈ったそうです。

40年の空白の時間

友近(根岸)恵子 (昭和37年度卒)

丁度1年前の春でした。卒業以来40年振りを見る3年A組の名簿。胸は高鳴り、学生服姿のクラスメートの顔が次々思い出され、胸が熱くなりました。

私達は当時50才だったのですが、何か場違いなところへ来てしまった思いでした。以来、同窓会は遠いものになってしまいました。

年一回の会食を

白取(相原)八重子 (昭和26年度卒)

会報50号の原稿依頼を受け戸惑っております。早速本棚より「梧桐会名簿 昭和45年度」を手に入れました。

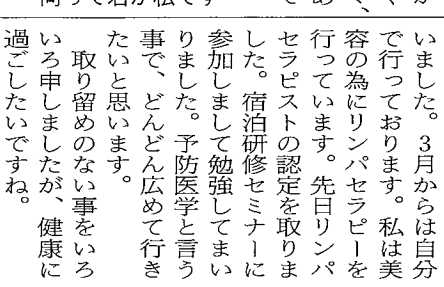
コーラスとリンパセラピー

金子(鈴木)克枝 (昭和34年度卒)

おばあちゃんの仲間入りをしてから、4月8日で1年10ヶ月になります。男の子が目を見せません。

私は現在、広島県尾道市に住んでいます。美しい瀬戸内海と海に浮かぶ沢山の島々を見ながら、西の京都といわれ、多数の寺院、そして桜の名所百選に選ばれた千光寺山の一万本の桜の

グループは当初7人で、(磯藤)子、(助川)芳江、(星)野紋子、(小泉)弘子、(内山)洋子、(中澤)満美、(私)現在5人になりました。



向って右が私です

活動量が少なくなっています。心配ですが、たまにはカラオケにも行きます。若い人の歌もいろいろ歌います。

取留めのない事をいろいろ申しましたが、健康に過ごしたいですね。

最後に梧桐会のさらなる飛躍を期待し心から有難うございました。

### 同期会・同窓会のあり方について



津田 弘 (昭和29年度卒)

同期会の報告  
昨年4月20日、市ヶ谷のアルカディアホテルにて、卒業以来15回目の29年度同期会を2年ぶりに開きました。

勢の出席を期待しましたが、法事、結婚式、また意外にも趣味の活動に時間をとられる人が多く、予想したほど出席者が少なかったのが少し残念でした。しかしこの2年間一人も亡くなられた方もなく、病に伏している人もなく、皆さん元気に各分野に活躍されていること、

### 同期会・クラス会

#### 今年私達の生誕六十年を祝う年です。

昭和36年度卒 3年E組 万年幹事

この節目を祝うクラス会として一人でも多くの方々に出席頂けるように、素晴らしい企画をしました。私達が大崎高校に通っていた頃より「学校の敷地は道路計画にかかっているのだから」と言われていた通り、その道路は大崎高校の敷地の地下を縦断することとなり、大崎高校は校舎もグラウンドもすっかり様変わりをしておりまして。そこで今回のクラス会では、その様変わりをした母校の見学と、これまたすっかりと趣きを変えた戸越公園の散歩。そしてお食事は、大井町線

が何よりも嬉しいことです。紙面が足りないので当日の詳しいことは書けません。三・四次会後の別れのさわやかな満足感の笑顔と、その後のお礼のハガキ、電話には早くも次を期待する声が掛かりました。

#### 同期会とは

私も長年幹事役をして感じたことを、この場を借りて言わせてもらいます。同期会に出席しない人は、たいていこう言います。友達がいないから、成績が悪かったから、もともと他に楽しいことがあるからなど、本当にそうだろうか。ならばオレはどうだ。大崎の時の通信簿は、体育以外は1と2しかなかった同期生一番の劣等生、その僕が何を好んで喜ぶとして幹事という世話役を40年もやっていくのか。ただ同期会がともも楽しいからなのです。僕自身年間50以上のパーティー・宴会に出ます。この年でも冬はスキー、夏は水泳大会と山登り、温泉めぐりに、土日はほとんど家にいません。楽しみを多く持つていても、同期会となる前夜ブトンの中で卒業アルバムの写真を見ながら、子供の頃に心くわくわくしてくるのです。何がそんなに楽しいのか。かわい子ちゃんに会えるから(？)ウソ、それもあつた。とにかく懐かしい人の輪に出ることにです。人と話し合うこと。楽しさは、年をとることに増してきます。楽しいドラマが展開します。精神の刺激になります。ボケの予防になります。

#### 若い人達と同期会

昨年の同窓会に20年ぶりに出席しました。先生方の出席が多いのかと思つたぐらゐ、年配者の出席が多く、若い人達が少なかつた。年代の違う若い人達7人に、皆さんクラス会・同期会をやりますか、と問うに驚いた。7人中6人は10年間一度も開いたことがないという。思わぬことだらう。思はずこいつらバカかアホーか(あえて言う)と思つた。いくら偏見値が低レベルの大崎高校といえども、人生で一番楽しい男女共学の仲間が卒業と同時に消え失せてしまうことは、何とバチあたりのことをしているか。先生だつて、その後の教え子に会いたいだらうに。すがりつこうとも、クラス会・同期会には是非出席を願いたいのです。おそろく生徒の名前は、おろか顔もお忘れでしょうが、我ら生徒は絶対に先生を忘れることはないのです。在校生当時の先生の笑顔・言葉でも鮮明に覚えているのです。先生のいるいないでは、会の盛り上がり全然違います。そこに先生がいないだけで絵になるのです。遠い日のお顔と今の顔がオーバーラップして、もしや誰々さんでは、と思うとき、このクライマックスの瞬間が同窓会なのです。や

### 信州上田の旅

平成16年4月17・18日、春たけなわの信州上田に、有志7名行つてまいりました。私達は、昭和36年度卒業生、元3年E組、担任小林元亨先生の教え子たちです。昨年のクラス会の折来



上：クラス会 下：信州上田の旅



望富山陽泰寺の山門の前で一同の感動を写真に収めました。(写真) 私たちを待っていてくれたかのように、花びらを散らし始めた桜を背に、山門をくぐり、先生の後についてお寺の中へと入り、由緒ある大変立派なお寺で

泳大会と山登り、温泉めぐりに、土日はほとんど家にいません。楽しみを多く持つていても、同期会となる前夜ブトンの中で卒業アルバムの写真を見ながら、子供の頃に心くわくわくしてくるのです。何がそんなに楽しいのか。かわい子ちゃんに会えるから(？)ウソ、それもあつた。とにかく懐かしい人の輪に出ることにです。人と話し合うこと。楽しさは、年をとることに増してきます。楽しいドラマが展開します。精神の刺激になります。ボケの予防になります。

#### 同期会への希望

先生様にお願ひ申し上げます。たとえ身は老いさらばえて車椅子・松葉づえにすがりつこうとも、クラス会・同期会には是非出席を願いたいのです。おそろく生徒の名前は、おろか顔もお忘れでしょうが、我ら生徒は絶対に先生を忘れることはないのです。在校生当時の先生の笑顔・言葉でも鮮明に覚えているのです。先生のいるいないでは、会の盛り上がり全然違います。そこに先生がいないだけで絵になるのです。遠い日のお顔と今の顔がオーバーラップして、もしや誰々さんでは、と思うとき、このクライマックスの瞬間が同窓会なのです。や

#### 同窓会へのお願い

来たる5月9日母の日の恒例の総会と同窓会には、生まれ変わった母校の見学を兼ねて、顔を出してみよう。きつと懐かしい同級生と先生との出合があることでしょうか。昨年は安い参加費で、とても素晴らしい料理に感激しました。総会の幹事さん、今年も期待しています。(婦人服卸業経営)

### 建設業で36年

岡崎 一郎 (昭和37年度卒)



早いもので、63年に卒業してから41年が過ぎました。この度は会報50号の原稿の依頼を受け、とまどっている次第です。親父の忠告に従わず建設業の世界に入つて36年、高度経済成長期から減退期をふりかえりますと、いろいろな所へ行き、又、その土地の人や習慣に出会つて大変有意義だつたと思われ、自分自身の通つた場所を次に列挙したい。74年まで、世田谷、松田、

### 「高校のクラス会は時空間を越える」



若井 知之 (昭和55年度卒 3年H組)

「高校のクラス会は時空間を越える」という噂が、会社の給湯室のOLの立ち話から出たことであるとか、その噂の本元が、六本木ヒルズの回転ドアのあるビルあたりであるとか、あるいはまた、私が噂の真偽を確かめるべく、六本木に向かうたのはいいが、近く中華料理店で北京ダックに舌鼓をたたきながら、帰る途中に心からお礼を申し上げて筆を置きます。追伸：皆様も、四季の陽はあつたが、どうぞお気をつけて。平成16年4月19日 小川(吉口)紗世子

西での勤務地は、京都伏見、大阪四條畷、枚方、奈良、山口県玖珂町、広島県大竹市、兵庫県東条町、玖珂町、和歌山県田辺市、岡山県玉野市、大阪府堺市、奈良市、三重県上野市、鳥取県郡家町、伊丹市、福山市、三重県上野市、奈良県生駒市、奈良県山添村、天理市と渡り、建設業から足を洗う。そろそろ還暦に近いが、休みになれば、青春18切符等で鈍行列車の旅を楽しんでいます。総会にはなかなか出席できませんが、大崎高校及び梧桐会の益々のご発展を心より願います。

#### 町の店に向かうのであった。

おそろしい話であるが、高校を卒業したのは今からおよそ四半世紀前である。十代のピチピチしていた頃と、現在の私はといえば、雲泥の差のほうである。なにしろ、40の峠を軽々と越えてしまつたおじさまおばさまの集まりなのである。当然その顔なり体つきなり服装なりを見てしまうわけだから、ごちながが伴わないわけがない。まさか、単刀直入に「おまえ、少しはげたなあ」とか「買録つきすぎとちがうか」とか「その目尻のしわはいつ頃からですか」とか、そんなこととはともやらないが聞けるわけがない。成熟した大人として、そんなことを聞くことには恥ずべき行為であるのは自明の理である。しかし、話し始め、酒が入り、また、話続けるうちに、デブだとかシワだとかそういうことが、どんどん関係なくなりはじめた。目の前には42歳にならんとするおじさん達おばさん達が、いつの間にかピチピチ10代に変わり始めているのである。誰かがかけた魔法に思う次第です。

大崎高校に私が奉職したのは、大学卒業した昭和26年4月でした。学校は移転新築して二年目、すべてが新しく、生徒たちは活気に満ちていました。

授業を楽しく

初年度、担当は1年生の「一般社会」で、「民主主義」という教科書を使いました。東大法学部教授尾高朝雄先生の著で、優れた論文でした。今も読まざるべき本です。私は、いきなり授業に入るのには好みません。生徒の顔も名前も分からないままでは、しらじらしいからです。人と人の人格的交わりこそ、教師・生徒のよきこびだと思えますので、まず生徒に自己紹介を頼みました。必ず話してもらおうこととして、(一)氏名、(二)住所・出生地、(三)出身中学、(四)クラブ活動、得意なこと、(五)将来の希望、(六)私の授業への注文、(七)その他、を板書しました。生徒は素直に応じてくれました。私はその発言をすべてノートしました。おかげで生徒をよく憶えています。

いま梧桐会会員名簿を見ていますが、十二年間の生徒一人一人の顔がはつきり蘇ってきます。しかも、高校2・3年生時代の若々しい顔で――

授業での注文では、楽しい授業を、が圧倒的でした。私も同感でしたが、さらに感動できる授業が大事だと詠じた松高寮歌「ああ青春」

### 大崎高校の思い出



旧職員 (昭和26~38年) 小林 元亨

中深く培ってもらいたい、と願ったからでした。

当時の大崎高校には、このことに感応する生徒たちが多勢いました。とくに昭和31年3月卒の男子B組の諸君たち(元同窓会長とその友人たち)とは、今も事あるときには会っています。そういふとき「ああ青春」を誦みます。思えば、私がお世話になった時代の大崎高校は、理想の学園だったので

二年目からは、「世界史」を担当しました。興味深く感動的な人物、事件がたくさんあります。私が旧制松本高校時代から憧れていた和辻哲郎先生に、直接教わりたくて、東大文学部に入ってから、その感銘を、生徒にも伝えたく、先生の著書から「風土」「偶像再興」「古寺巡礼」「鎮園」「倫理学」等の要所を朗読もしました。生徒たちも共鳴し、本心に燃える授業ができました。

今は大学進学準備で、そんな時間は取れないでしょう。しかしこのとき、大崎高校開校以来の東大合格者

### 職員だより

#### 40年経ちました



旧職員 志村 (山口) 洋子

1963年8月28日、校門から花の咲き乱れる中庭をぬけて事務室に行こうとすると、「おめえ、どこに行く?」と声をかけられました。左側の窓から身を乗り出していたのは田口先生です。その日は採用の校長面接の連絡を受けて訪れました。そしてここで初めて

告白しますが、断る。決意で、さらに告白すると、一人では断り切れないうちも、一人といふ友達まで一緒だったのです。すでに中学校で講師をしていました。週15時間、月々夏の臨海学校にもくっついて行き、4月になつたら本採用にしてみました。おうと思っていたのでした。

堀越源作校長と校長室で話した数分間がどんな展開だったか、私は9月1日から大崎高校に勤めることになりました。

9月2日から2年生と大変な授業の日々となりました。夏目漱石の「坊ちゃん」とまではいかなくても、教室の入り口の上に挟んである黒板拭き、教卓の上においてある箱の中の蛙、机と机の間を歩く横に突き出される足、または多くのやたらに細かい文法上の質問等々。とにかく予習に明け暮れはしても何一つうまく対応できないのでした。

一方、体育祭、文化祭、後夜祭、クラブ合同合宿、臨海

同期会・クラス会のこと

同期会のなかで、とくに毎年ご案内いただくと、昭和28年度の卒業生の「二八」会です。クラス担任ではありませんが、私が1年生で「一般社会」、2・3年生で「世界史」を持った縁の深い学年です。初めは都内で、近年は一泊バス旅行(長野県・山田温泉・白樺湖・戸隠高原・上山温泉・県外の谷川岳・鬼怒川温泉など)をされています。参加者も多く、賑やかで、会えばたちまち高校生に若返る楽しい集まりです。子育ての喜びや悩み、今は孫たちの話題や時事問題等で、夜おそくまで語り合える会です。

クラス会は、大崎高校で唯一1年生から卒業するまで担任したクラス(東大大学院と研究員時代は担任を免除して下さった)の「3E会」です。毎年都内で会を開き、また上田の私の寺にも2回来てくれました。昨年は、教育論・人生論を書いた拙著「明珠在掌(みようじゆざいしやう)」(宝は自身である私の座右銘を全員に差し上げたところ、書名の私の文字をコピーし、それを純金とプラチナの浮き彫りに仕上げた見事なルーツを贈ってくれました。私の大切な勲章です。今年、桜を見にお寺へ来、かつ坐禅修行をしたい、とのこと。泊りは別所温泉です。

近況報告

郷里に帰ってから、最後に長野高校長・県高校長会に長を務めました。そして、平成12年の叙勲で勲四等瑞宝章を受章いたしました。

「二八会」からもお祝いの豪華なアルバムをいただきました。私が今日あるのは私をじっくり育てて下さった大崎高校の先生方と生徒の皆様のおかげと、いまでも感謝申し上げます。思い出は尽きません。またの機会を待ちます。同窓会の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

先生との交流

先生との交流は、私が2年生になった時と記憶しています。

先生が大崎に着任し、しばらくして担任になったころ、ある日職員室に呼ばれ、何事かと行くと、実は地図の番地で見るとあなたの家が近いから、私の子供が生まれたら面倒をみてくれないうらなうかとのことでした。そして、我が家で母が子守をするのことに、生まれゆくからしばらくして、朝、ゆみさんを預けに来、帰り

大崎との交流

大崎とは何か関係あるのか、終戦後、小学4年生ころ、一時大崎に住んでいた時、通っていた芳水小学校の分校があり、そこで女学

今も続く大崎の縁

あれからもう50年位過ぎましたが、母校で個性豊かな先生方と多くの友人を得た今でもその時の友人達と賀状のやりとり、交際したりしております。また自由で人間性あふれるのが伝統だと思っています。

世の中は広いようで狭いとの諺通り、茅ヶ崎に住んで、週明けは体が痛いの。何となく気づいたのだか、痛みがだいぶたつてから出てきて、週の後半になってようやく引いていくのである。週末まで痛むこともあるが、これって年取った証拠ですか? でも続けていること何だかわエストが引き締まってきたみたい。回りの人は、あまり気付かないみたいだけど、思っているのは自分だけ?

◇今年の梧桐会総会も、昨年と同様、新校舎の光庭で開催予定です。素晴らしい所ですよ。是非お誘い合わせのうえご出席ください。母の日、待っていますよ。(なべちゃん)

### 矢野(大多和)志津先生をしのんで

高林 茂夫 (昭和29年度卒)

平成15年1月2日の夜、突然死去されたとの知らせが私の姉昭和26年度卒から知らせがありました。享年88歳、誕生日の翌日のことだそうです。

お嬢さんの話によりますと、前日の夜は普通にお休みになり、次の日の朝亡くなっていったとのこと、驚きました。

正月三日のため他に連絡しようがなく、大崎卒以来の友人である津田弘さんに出席と手伝いを依頼し、忙しいところ承諾してもらい助かりました。

葬儀は桐ヶ谷斎場の隣の斎場で行い、火葬のあと二人で自宅に送り届けました。お墓は北鎌倉の円覚寺の中の白雲庵です。

娘さんによると、生前から万一の時は親類には連絡せず、また、告別式の斎場や葬儀の方法、お寺を指定し、お墓まで作ってあったそうです。そのため、お通夜、告別式等は私の姉、私達二人を加えた小人数で密葬という形で行いました。

先生が生前に、私が2年生になった時と記憶しています。

先生が大崎に着任し、しばらくして担任になったころ、ある日職員室に呼ばれ、何事かと行くと、実は地図の番地で見るとあなたの家が近いから、私の子供が生まれたら面倒をみてくれないうらなうかとのことでした。そして、我が家で母が子守をするのことに、生まれゆくからしばらくして、朝、ゆみさんを預けに来、帰り

今でも覚えていたのは、卒業した後、私の母に話していたのは、学校の帰り津田さんに会い、自動車で送って行くと言われたが、恐くてね、と笑っていたそうです。

今日まで、母の亡きあと私の姉の行き来があり、最後の半年前に来られたと聞いています。声を聞いたのは1年前に電話したのが最後になりました。

生前、国語の先生らしく、ゆつくりとした話し方で、皆様のご存知のとおりです。在校時、先生の自宅に伺いアルパムを見せてもらった際、津田塾とお茶の水女子大を卒業しているのを見て、「へー、すごいね」と思っていました。そのことを葬儀のあとまゆみさんに尋ねると、資産家だった両親が将来は女性も教養が必要だから学問をさせたのだとのこと。意外一流好みだったのかも知れません。また、格式が高かったかも。

校が間借りしていたのが今の大崎だったと後に知りました。その後、あの時のクラスに故・旧姓東さんが一緒だったと教えられ、びっくりしています。

しばらくして私達の住まいを大井町(現西大井)に移し、姉が大崎に入学し、途中、五反田の星葉科そばの校舎から新校舎の戸越まで机やイスをもってアリの行列のように歩いて引越したと言っていました。

姉の卒業年に私が入学したので、各先生方の持ちよるかかアダ名を聞いていました。

私が入学したころは木造校舎で、あの名高い葉門をくぐり、時折折田先生がいて服装チェックをされていたのを覚えています。

今も続く大崎の縁

あれからもう50年位過ぎましたが、母校で個性豊かな先生方と多くの友人を得た今でもその時の友人達と賀状のやりとり、交際したりしております。また自由で人間性あふれるのが伝統だと思っています。

世の中は広いようで狭いとの諺通り、茅ヶ崎に住んで、週明けは体が痛いの。何となく気づいたのだか、痛みがだいぶたつてから出てきて、週の後半になってようやく引いていくのである。週末まで痛むこともあるが、これって年取った証拠ですか? でも続けていること何だかわエストが引き締まってきたみたい。回りの人は、あまり気付かないみたいだけど、思っているのは自分だけ?

◇今年の梧桐会総会も、昨年と同様、新校舎の光庭で開催予定です。素晴らしい所ですよ。是非お誘い合わせのうえご出席ください。母の日、待っていますよ。(なべちゃん)

### 編集後記

◇4月21日(午後)3時35分。昨年と同ペース。編集後記執筆中(?)であるが、あと一つ、会長の原稿が入ってこない。かつ、かいちよー! ◇本号も遅ればせながらも、大先輩を中心に、いつものように原稿依頼をしたのであるが、今年はずいぶん。ほとんどの方が書いてくれました。しかも女性ばかりだ(これは女性の卒業生が圧倒的に多いのだからしかたあるまい)。やばい、紙面が足りない。おまけに追加原稿も頼んでいる。どうしよう。何とか全部入れた。どーだ! 写真がやけに小さいな。苦労のあとを見てくれ! 岡崎さん、ページまたがってごめんさ。

◇50号。その以上を手がけてきたが、内容的にどうなのか? マンネリ化してないか? いつもこの時期考えこんでしまう。なにか意見等ございましたら、ぜひお聞かせ下さい。そうそう、Eメールアドレスを取得しましたので、どんな活用してください。

◇野球のコーチが続いていきます。土・日にやっているの、週明けは体が痛いの。何となく気づいたのだか、痛みがだいぶたつてから出てきて、週の後半になってようやく引いていくのである。週末まで痛むこともあるが、これって年取った証拠ですか? でも続けていること何だかわエストが引き締まってきたみたい。回りの人は、あまり気付かないみたいだけど、思っているのは自分だけ?

◇今年の梧桐会総会も、昨年と同様、新校舎の光庭で開催予定です。素晴らしい所ですよ。是非お誘い合わせのうえご出席ください。母の日、待っていますよ。(なべちゃん)